

一族を通して、菊池のファンに

平安時代後期から室町時代にかけて菊池を拠点に活躍した「菊池一族」。その歴史・文化資源を活用した取り組みは、地域への愛着や誇りを育むとともに、まちを支えるファンを増やすことにつながります。

ヒントは きくちさん交流事業

「地域の歴史や文化を知ること、地域への愛着や誇りを育むきっかけになります」。そう話すのは、菊池一族プロモーション室の野中英樹係長。一族の歴史・文化資源を活用した地域活性化の取り組みを進めています。

「全国的に人口増が見込まない中、その地に住んでいなくても興味・関心を持ち、多様な形でまちを支えてくれる人『関係人口』を増やす必要がありました」と続けます。

ヒントになったのは、平成28年熊本地震の年に行った「きくちさん交流事業」。全国の菊池（地）姓の人や一族にゆかり、関心のある人たちを招いたところ、驚くほどの反響がありました。「市のフェイスブックに投稿した記事には3600以上の『いいね!』があり、全国の菊池（地）さんからたくさんのコメントが寄せられました。毎年ふるさと納税をしたり、きくち夏まつりに合わせて来訪したりする家族もいます。このつながりをさらに広げ、まちづくりに生かしたいと考えました」。一族の歴史・文化の価値に大きな可能性を感じています。

応援する仲間を増やす

市は歴史・文化資源を活用した「菊池一族プロジェクト」を計画。一族をきっかけに菊池に関心を持ってもらい、地域への愛着と誇りを育むことを目指しました。

令和元年には武光ウィークと題し講演会やワークショップなどを開催。一族にゆかりのある自治体と連携した「南北朝・菊池一族歴史街道プロジェクト」も進めています（関連33ページ）。そして今回、菊池を好きな人たちが継続的につながる仕組みとして「菊池ファンクラブ」が開始しました。「市内外に菊池を応援する仲間を増やすことが一番の目標。地域でもファンづくりの取り組みが進んでいますよ」と野中英係長は笑顔を見せます。



始動!

南北朝時代、一貫して南朝に忠誠を尽くし、九州を征した武士の一族が菊池にいました。その名は「菊池一族」。彼らが築き上げた歴史・文化資源をヒントに、多くの人がまちを盛り上げようと、さまざまな取り組みを進めています。全国的に高齢化や人口減少が進む中、重要になってくるのは「まちを支えるファンをつくる」こと。共に市を盛り上げ、継続的なまちづくりを進めるために、2月1日、「菊池ファンクラブ」が始動しました。

【問い合わせ先】
（社）菊池観光協会 ☎0968(25)0513
企画振興課菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267



令和元年の菊池武光公生誕700周年ウィークでは、初の官民連携による一族の歴史資源を活用した啓発活動を行った



「菊池一族SAMURAIブランド化事業（総務省モデル事業）」では訪日外国人の菊池ファンをつくる取り組みを実施



福岡県の4市1町と広域連携で地域活性化を目指す「南北朝・菊池一族歴史街道プロジェクト」も進行中



九州を征した豪族 菊池一族

延久2(1070)年、大宰府の高官藤原隆隆が菊池に向かい、菊池氏を名乗ったのが始まりといわれています。代々朝廷の忠臣として奮闘し、たとえ不利な立場になったとしても信念を覆すことはなく、一途に志を貫き通した一族です。

南北朝時代には全国的な北朝有利の状況にあっても南朝の雄として最後まで戦い抜き、その愚直なまでに信義を貫く姿勢は、後の世にまで語り継がれることになりました。中でも15代武光が百戦錬磨の勇将として名を馳せ、後醍醐天皇の皇子である懐良親王を盛り立て、九州を平定するなど、菊池族の最盛期を築いた人物です。



刀でつなぐ地域の思い

菊池一族のお抱え鍛冶として数々の名刀を鍛冶してきた延寿。その歴史的価値に着目して地域の魅力を掘り起こし、継承しようと取り組んでいる人たちがいます。



延寿鍛冶展で菊池を知るきっかけに

平成29年から開催している「菊池一族と延寿鍛冶展」。第1回から関わっている工藤忠さんは「菊池の歴史や文化資源を活用した、菊池だからできるイベントを考えました」と当時を振り返ります。平成26年に開催された一族のシンポジウムに触発され、一族のお抱え鍛冶「延寿」に焦点を当てた市内初の刀剣展を企画。手探りで挑んだ展示会には、全国から大勢の人が駆け付けました。昨年2月にはクラウドファンディングに挑戦。市が開催した講習会でノウハウを学び、



菊池一族まつり実行委員会 実行委員長
菊池ファンクラブ実行委員長
工藤 忠さん(田島二)

- クラウドファンディングで制作されたデジタル図録「同田貫」DVDは延寿にゆかりのある下西寺・今・稗方区に贈呈して地域へ還元した
- 宮川さんに習い、菊池池小の6年生が当時作っていたバケツ太鼓を再現
- 第3回延寿鍛冶展では全国から多くの若い女性も来場
- 八坂神社で菊池池小の6年生に延寿刀について教える工藤さんと上村さん
- 昨年の学習発表会で延寿太鼓を披露する菊池池小の6年生



無双直伝英信流菊池延寿館 館長
上村良成さん(小野崎)

「同田貫」デジタル図録「プロジェクト」を実施しました。初めての取り組みにも関わらず、開始数分で目標金額を達成。「ファンへのニーズに応え、交流を続けてきた成果」と工藤さん。スタッフ一同涙が止まらなかったと言います。「支援者1069人、支援総額は900万円以上。菊池の地域資源は全国の人を惹きつける魅力があると実感しました」。しかし、コロナ禍で第4回の開催は延期に。支援者に返金を申し出たところ、「次回に活用してほしい」と開催を待ち望む声が多くの人から届きました。励まされるとともに、責任も感じたと工藤さんは話します。「ファンクラブ

との連携も視野に入れながら、ファンとのつながりを大切にしていきたいです」

活動は教育の場にも

居合道場「菊池延寿館」館長で、工藤さんの居合の師匠でもある上村良成さんは「延寿鍛冶展のような取り組みができるのは、地域の歴史や文化を大事に残してきた先人がいたからこそ。まちの宝として価値を伝えていきたいですね」と思いを語ります。校区内に延寿一族の祖、延寿太郎国村が構えた屋敷跡の八坂神社がある菊池池小学校では、地域の歴史を学ぶことを目的にフィールドワークや

菊池一族プロモーション室による出前授業を実施。上村さんと工藤さんは延寿鍛冶について解説しました。「子どもたちが地域を知り、自分たちでまちの良さを語るようになってほしい」と上村さんは目を細めます。

「子どもたちの太鼓を叩く姿勢や表情も凛々しく、堂々としていました」と話すのは、同小6年生の担任、松本翔教諭。「今年度は地域のさまざまな人から歴史を学んだことで、子どもたちの身も引き締め、休み時間に太鼓の練習に励む姿も見かけました。学習発表会では子どもたちの一体感を感じられ、感慨深かったです」と振り返ります。(関連3・31ページ)。



太鼓を通して歴史を紡ぐ

同小の6年生が毎年演奏する「延寿太鼓」は、元校長の宮川伊十さんが平成16年に始めました。「最初はバケツで作った太鼓で演奏していたんです。すると、それを見た地域の人が有志で寄附金を募り、本物の太鼓をそろえてくれました。とてもうれしかったですね」

自分の地域に誇りを

「地域に誇りと感謝の思いを持ち、ここで生まれ育って良かったと思える人になってほしい」と話す宮川さん。たくさんの人の思いを延寿太鼓にのせ、子どもたちは力強い音を響かせ続けます。

地域の歴史を残していくために延寿太鼓と命名。受け継がれた歴史をきっかけに地域



菊池池小学校元校長
宮川伊十さん(間所)

菊池一族のすごさにほれました!

幻の都 城下町・菊池を自作の絵で再現

橋本真也さん(岡)

絵を通して一族を知ってもらい、もっと菊池をPRしたい。その思いから、地域おこし協力隊だった3年前に、一族が栄えていた当時の菊池を描き始めました。資料を照らし合わせながら現地へ何度も足を運び、専門家の監修の下、描いた絵は50枚以上。描いた絵は広報紙(関連21頁)や冊子、市

民講座、市内の中学校の巡回展などで活用されています。一族について調べていくうちに菊池にはとてもすごい歴史があったことに気付かされ、一族の魅力に惹かれていきました。これからも、一族のゆるぎないストーリーを多くの人に広めていきたいです。



延寿太鼓、みんなでたたいたよ!



赤瀬龍生さん
(菊池池小6年)

菊池一族の歴史を学んでより一層頑張れました。地域の人々の力で受け継がれた延寿太鼓を演奏できて良かったです。



松浦心聖さん
(菊池池小6年)

今年がコロナで演奏できなかった不安でしたが、無事自分たちの手により受け継ぐことができうれしかったです。



蔵座亜月さん
(菊池池小6年)

太鼓を演奏する時は最初緊張していましたが、自分の力を出し切ることができて、良い思い出になりました。

菊池一族の魅力や文化をブログやSNS、動画で発信中! ホームページからご覧ください。

菊池ファンクラブ

<https://kikuchi-fan.com/>

総選挙の投票やファンクラブの会員登録ができます。菊池をもっと好きになる情報が盛りだくさんです。要チェック!



【問い合わせ先】
菊池観光協会(限府1273-1)
☎0968(25)0513
定休日:第4火

菊池一族特設サイト

<https://www.city.kikuchi.lg.jp/ichizoku/>

歴史や史跡を紹介。一族の魅力が詰まった情報が充実しています。



関連企画 武将ぼっち飯

<https://kikuchimeshi.net/>

市内の飲食店やイベントに関する情報が満載です。動画も配信予定。



現在、動画の撮影・編集の真っ最中。ご期待ください

菊池の食を応援!



菊池の飲食店をPRする「武将ぼっち飯」

吉田舞子さん(画)

仕事で培った企画やマーケティングのスキルを生かし、菊池の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたくて、ファンクラブの運営に携わっています。

菊池にはおいしい飲食店がたくさんあるのに情報がまとまっていない。そこで、甲冑をまとった一族の武将を装った男性が

市内の飲食店を食べ歩いた情報をSNSやブログ、YouTube(今後配信予定)で届ける「武将ぼっち飯」を企画しました。

コロナ禍でも菊池の飲食店、そしてまちをPRしていくために、これからどんどん情報を発信していきます。皆さん、ぜひチェックしてみてくださいね。



【党首】藤原 武 【党首】田部留忠 【党首】森谷湯美 【党首】菊池健一郎

マニフェスト マニフェスト マニフェスト マニフェスト

謎が多い菊池の歴史を楽しく学ぶ機会をつくります!
菊池の食材やグルメの楽しみ方を世界に発信します!
美と健康と癒やしの体験プログラムを皆さんと開発します!
全国のきくちさんどゆる〜くつながる仕組みをつくります!

650年ぶり2回目の首都宣言!?

九州国首都 菊池 代表総選挙

かつて菊池市は九州の首都だったー

今から約650年前、一族が治めた菊池は九州の中心として栄えていました。そんな菊池を愛してやまない有志4人が、菊池の魅力を発信するため、九州国首都を宣言し、代表総選挙を始めました。2月15日(月)に中央図書館で党首4人の記者会見も実施されます。開票結果は3月中旬に発表します。詳しくは総選挙のチラシ、または公式ウェブサイトをご覧ください。



投票期間 2月1日(月) 告示 ~ 3月7日(日) 開票

投票方法 ① 投票用紙(チラシ裏面)に記入し、投票箱に投函、またはFAX(0968(25)0576)で投票
② 菊池ファンクラブの公式ウェブサイトから投票

投票箱設置場所 市役所本庁舎、各支所、各公民館、中央図書館、泗水図書館、菊池観光協会、きくち観光物産館

菊池ファン集まれ~! /

投票して、菊池ファンクラブの会員になろう!

投票用紙の入会希望欄にチェック、または菊池ファンクラブの公式ウェブサイトから入会できます。会費は無料です。

菊池ファンクラブは、菊池を好きな人たちが集う交流の場です。仲良く助け合いながら、私たちと一緒に楽しい場所に育てていきませんか。皆さんの入会をお待ちしています。



菊池ファン

× 市民

菊池ファンクラブ、いざ出陣!

菊池観光協会と市民有志により結成された菊池ファンクラブ。運営に携わる人にプロジェクトにかけの思いを聞きました。

菊池にしかない魅力を全国に発信

「コロナ禍で観光が疲弊している中、ファンクラブには未来があると感じているんです」と話すのは、ファンクラブを運営する菊池観光協会の合志和洋代表理事(立町)。「これまで城山の日の清掃活動や菊池の史跡を巡るツアーなどを企画してきました。「私は菊池一族と同時代に活躍した合志一族の子孫と聞いていますが、生まれ育ったまちのために力を注いできました。今こそ時代や地域の枠を超えて結束し、まちの課題を共に考え、菊池を支えてくれる人たちをもっと増やしていきたい」と意気込みます。



菊池健一郎さん(栄町)

まちのために力になりたいと思いました」
菊池さんは、市内でイタリア料理店を営んでいます。「地元に関する文化や歴史など地元愛を大事にするのがイタリア料理。だから、自分も生まれ育った菊池で店を構えるのが一番と思い、修行をしてきた神戸から帰郷しました」
地元にいると当たり前だと思っていたことも、一歩外に出てみると見え方が変わったという菊池さん。「歴史・文化だけでなく、農畜産物、菊池水源が育んだ水、何でも豊富にそろっている菊池は、全国的にもかなり恵まれたまちです。その価値を発信していきたい」

菊池をもっと好きになれるファンクラブ

ファンクラブではイベントや新商品を考えるファンミーティング、体験型ツアーへの参加、菊池の歴史・文化を学べる検定試験などを企画しています。会費は無料。ポイント制度を用意し、年間ポイント数やランクに応じて特典が進呈されます。まずは代表総選挙に投票して、菊池の魅力を再発見してみましよう。

「きくちさん」は全国に34万人もいるんです!

「えー! そんなに550万人もいるんですね」



菊池ファン

×

未来

市内の菊池ファンを増やすことが
まちの未来を創造する鍵に

「ファンクラブは市民がまちの良さを知るきっかけにもなる」とプロジェクトに期待を寄せるのは、菊池ファンクラブ協議会惣領の田中忠彦さん（写真前列⑤）から4人目・片角）。観光ガイドの育成や市民講座、学校への出前授業など、市民への啓発活動を長年にわたり続けています。

「まちの魅力を語れる人が増えれば、おのずとファンも増えるでしょう。そのためには、まず市民である私たちが地域を知り、まちのファンになることが大切です」と田中さん。

市民一人一人の思いや行動が、まちの未来を創る鍵となります。

菊池一族のように
志を持ち続けて

「一族には3つの菊池精神がある」と田中さんは語ります。

- 一、ぶれない精神
- 二、学ぶ精神
- 三、創意工夫の精神

逆境の中でも知恵を出し戦い抜き、時に謙虚に学び、志を貫き通した菊池一族のように。全国のファンと一緒にコロナ禍を乗り越え、菊池の未来を築き上げていきましょう。

